



平野 武志 議員

いっぱん

問 給食費の保護者負担 軽減する考えは

答 負担額の半額助成を検討 —— 教育長



給食費の半額助成は画期的な制度です。少子化・定住化対策として期待されます

質 問 次年度から、給食費の値上げが検討されています。いまの給食費は平成12年からで、原材料価格や生徒数減による食材購入価格も高騰し、次年度からは消費増税もあり、やむを得ないと判断しています。

ことしの第2回定例会でも、教材費の保護者負担軽減とスクーゼットへの助成をお願い

しており、同様の観点から給食費の値上げ分も町が支援すべきだと思います。

また、第6次木古内町振興計画に、「体験的教育活動の充実を図る」と記載しています。現状、無名塾などの活動は実施していますが、一部の児童や生徒だと認識しています。

小中学校との協議や調整も必要ですが、自然体験活動は健やかな心等を育む大事な教育であり、積極的に取り組むべきだと思いますが、教育長の考えを尋ねます。

野村教育長 学校給食費の保護者負担軽減のため、学校給食センター運営委員会から出される答申額の二分の一を軽減するよう、町財政部局と検討しています。教材費等への保護者負担軽減についても、新年度予算に反映させるために検討をしています。

ます。

また、子ども達に体験活動を充実させるということについては同感です。学校教育では、限られた学習時間の中でどのような活動を選択するかということも必要であり、社会教育活動と連携して支援に努めていきます。

町政懇談会町長答弁
消極的で非常に残念

質 問 町政懇談会で

町長は、JR江差線（木古内・江差間）廃線の夢プロジェクトについて、「行政が進めるのは難しい」と答えていましたが、非常に消極的な発言で残念でした。

新幹線開業を迎え、行政が主体となり官民一体となった交流観光拠点への取り組みを進めるべきだと思います。また、職員の資質向上については、取り組

む課題も多く永遠のテーマです。職員の規律違反もあり、信頼を回復させるには町民の目に届く具体的な取り組みが必要だと思いますが、町長の考えを尋ねます。

大森町長 町政懇談会では、トロッコなどの遊具整備は採算性から難しいと答えました。

今後、観光協会役員から整備の方向性が示された後、協議することになっていきます。

また、職員の規律違反は誠に申し訳なく、日頃の管理体制や管理監督が不十分であったことを反省し、金額を扱う部署は二重三重のチェック体制を図るよう徹底しました。

町独自の新人研修や法制研修、接遇研修を行い、住民の皆さんから信頼される職員の育成に努めていきます。